

本の選書にチャレンジしよう!

第5期 子ども司書講座 新聞 第4号



第4回目の講座は、本の選書を行いました。選書(せんしょ)とは、図書館の本を選ぶことです。選ぶということは、とてもむずかしいことです。たとえば、本を買うとき、どのように選んでいますか?『面白そうだな』とか『新しいシリーズの本だから読んでみようかな?』などのように考えて選んでいると思います。図書館も同じようにどんな本がいいかな?と考えながら選んでいます。

図書館では、どんな本を選んで買うか、あるルールを決めています。選書方針(せんしょほうしん)といえます。子供向けの本ばかりではないし、読み物ばかりではダメです。他にも勉強に役立つ本はあるかな?同じ本はないかな?など、いろいろなことを考えています。たくさん出版社が発売している本のカタログを見たリ、インターネットで調べることができ、書店のホームページを見たり、いろいろな方法で本を決めます。

今回、皆さんに体験してもらったように、実物の本を読んで決める方法を『見計らい選書』といえます。専門の書店や出版社がたくさん本を図書館に持ってきてくれます。今回は『NCLの会』(農文協)さんに協力をいただきました。NCLの会は、たくさん出版社がグループをつくって本を販売しています。

自分で読みたい本やおすすめの本をあらためて「選ぶ」という作業はむずかしいけれど、楽しいことでもあります。選ぶから、さがす楽しみや読む楽しみもあります。みなさんには1人5冊くらい程度の本を選書してもらいました。これらの本を図書館で購入して本の登録をし、他のお友達にも読んでもらえるように専用の本棚も作りたいたいと思います。



出版社で働く人の話を聞いてみよう!

本の選書を体験したあとは、出版社で働く人に、どんなお仕事をしているのか?出版社ってどんなところ?という話を中心にかいせつしてもらいました。かいせつしてくれたのは、「農文協の鈴木さん」です。ありがとうございます。農文協は、農業、食べ物、教育、健康など、わたしたちの生活にかかせない内容の本をたくさん出版しています。

鈴木さんは、本ができるまでにどんな人たちがかわって、どんな話(わたり)をしながら本をつくるのかを聞いてみました。

出版社で働いている人にお話を聞くのはなかなかできないことなので、皆さん、とても真剣に聞いていました!

本をたくさん読んでほしいという鈴木さんの言葉がとてもいんしょうにのこりました。



次回の講座予定

次回の講座は、9月11日(日)午前10時~です。本の装綴を体験します!覚えたら便利な“技(わざ)”ですよ~♪

